

# 県民活動団体による企業との協働事例集

令和4年（2022年）3月

山 口 県





地域の課題が多様化・複雑化する中で、多様な主体と連携・協働し、それぞれがノウハウを活かしていくことが重要であることから、令和3年3月策定した「県民活動団体と企業との協働の手引」に基づき、これから連携・協働の取組を行う県民活動団体等の御参考にしていただけるよう、先行事例として様々な分野の取組を収集しました。

協働の取組を通じて、「団体の活動をさらに活発化させたい」、「取組を地域の発展につなげたい」、「さらに社会貢献をしたい」など、目的に応じて御活用ください。

## 目 次

《事例1》 瓜を育てて地域も育てる「うりうりプロジェクト」	1
《事例2》 産後のきれいなママを応援プロジェクト	3
《事例3》 ローカルスーパーマーケットの特徴を活かした社会貢献活動	5
《事例4》 家族・地域・農家を結ぶ 絆プロジェクト	7
《事例5》 ヘアドネーションプロジェクト	9
《事例6》 岩国の特徴を活かした福祉・子育て支援の活動	11
《事例7》 VRや映像コンテンツなどを使った魅力発信の協力・支援	13
《事例8》 一生に一度の晴れの日を採りたい	15

(協働事例1) 瓜を育てて地域も育てる「うりうり基金プロジェクト」

認定 NPO 法人支えてねネットワーク (山口市) × 有限会社みかわ (岩国市)

## 1 協働の概要

- 農家や地元の人に、白瓜を耕作放棄地や家庭菜園等で作ってもらい、出来た白瓜を認定NPO法人支えてねネットワークに寄付。(NPO法人自身も白瓜を生産)
- 白瓜は、岩国の企業(有限会社みかわ)が買い取り、オリジナル商品(大吟醸の奈良漬)を製造
- 白瓜を販売して得た利益をNPO法人の運営(ひきこもりの人と家族への支援)費用として活用。

## 2 インタビュー「キーパーソンに聞く」 <認定 NPO 法人支えてねネットワーク 理事長 上村 早苗 さん>



- 岩国の企業(有限会社みかわ)さんが、地元食材(瀬祭の酒粕)と地元野菜(白瓜)を使って、オリジナル商品(大吟醸の奈良漬)を製造されているが、その材料となる白瓜の確保に苦労されている、という話があった。
- 当法人としても、財源確保やひきこもりの方の就労支援として、また、地域(秋穂地区)にある耕作放棄地の活用として、何かできないかと考えて、近くの障害者施設の方にもお声がけをして始めたのがこのプロジェクト。
- 耕作放棄地を活用し、元気なシニアや趣味で野菜を作っている方たちや障害者施設とも協力して就労支援や工賃確保のための活動もしていき、地域社会を育てていく仕組みとなっている。
- また、出荷等に関して青果市場に協力を得ているほか、近くのスーパーから発送用のバナナ箱を提供いただくなどして、地域の中で様々な繋がりができている。

### <団体としての強み>

- 事業を行うにあたり、多様な組織を巻き込んで取り組むとの姿勢を持っている。
- 一緒に取り組んでくれる「地域や人的ネットワーク」を有している。

### 3 協働の具体的な内容

各主体	取組内容
NPO 法人(支えてねネットワーク)	苗の配布、白瓜の生産・出荷・販売
企業 (有みかわ)	白瓜の買取
協力者 (障害者施設、農家等)	白瓜の生産 (就労支援)

< 植え付けの様子 >



< 製品 (大吟醸の奈良漬) >



< 収穫後の白瓜 >



### 4 協働の成果

各主体	成果
NPO 法人(支えてねネットワーク)	財源確保、ひきこもりの方の就労体験
企業 (有みかわ)	不足原料 (白瓜) の確保、県産品での商品製造
協力者 (障害者施設、農家等)	障害者の就労支援、耕作放棄地の活用

### 5 参考情報

法人名 (所在地)	認定特定非営利活動法人支えてねネットワーク
住所	山口市秋穂西 1 2 6 7 番地 1
設立	平成 1 6 年 3 月 (認定: 平成 2 6 年 8 月 ~)
事業目的	ひきこもりとその家族を支え、地域で孤立させない
会員数	3 5 名
受賞歴等	チャレンジやまぐち! 地域貢献賞 (平成 2 4 年度)

(協働事例2) 産後のきれいなママを応援プロジェクト

NPO 法人あっと × BAY TOKYO (カットサロン)

## 1 協働の概要

- NPO法人の会員からの声を受けて、企業（美容院）が、子育てママのニーズに応える商品を販売し、商品に付属する託児サービスの提供にNPO法人が協力。
- 売り上げの一部は、企業からNPO法人に寄附され、NPO法人の運営（子育て家族が子育てしやすい環境づくり）費用として活用。

## 2 インタビュー「キーパーソンに聞く」

<NPO法人あっと

代表理事 藤井智佳子 さん>

- 産後の子育てママから「人目を気にせずに、子どもの世話（授乳等）もしながら、ゆっくり髪を切りたい」との声があり、そうした現場の声が協働の出発点になった。
- そうした中、ご自身の子育ての関係で当法人と繋がりのあるカットサロンの方があり、お話をしたところ、「月曜日であれば、貸し切りサービスの提供が可能」とのこと、今回の取組となった。
- 具体的には、美容院を貸し切りでカット等をされている間、当法人のスタッフが託児サービスを有償で提供する。さらに、売上の5%をお店から寄附していただくというもので、このサービスを子育てママ向けにプレゼント（ギフト券）としても贈ることができる、という仕組みとなっている。
- この企業以外にも、自動車販売会社と連携したチャイルドシートの無料貸出（最大1か月）や、広告会社（男性社員が多い）が発行するフリーペーパー（子育て応援マガジン）の企画及び現場インタビュー等に協力しており、そういった機会を通じ、子育て現場や企業など、幅広い方との繋がりができている。



<団体としての強み>

- 現場のニーズ（子育て家族の声）に精通し、それに基づく具体的な企画・提案ができる。



### 3 協働の具体的な内容

各主体	取組内容
企業 (BAY TOKYO)	子育てママ向けプランの提供 例：貸切プレミアム託児プラン
あっと	託児サービスの提供 (有償)

<ほっとさろん西門前てとてと(外観)>



<ほっとさろん西門前てとてと(内部)>



<貸切プレミアム託児プラン(美容院)>



<子育て応援マガジン「mamatoko」>



### 4 協働の成果

各主体	成果
企業 (BAY TOKYO)	新たな商品展開
あっと	財源確保、子育てママへの支援

### 5 参考情報

法人名 (所在地)	特定非営利活動法人あっと
住所	山口市本町2-1-3ほっとさろん西門前てとてと内
設立	平成18年2月
事業目的	子育てがハンデでなくアドバンテージになる社会へ
会員数	10名
受賞歴等	チャレンジやまぐち! 地域貢献賞 (平成26年度)

(協働事例3) ローカルスーパーマーケットの特徴を活かした社会貢献活動

株式会社丸久 × NPO法人フードバンク山口 (山口市)

## 1 協働の概要

- スーパーで通常廃棄される、包装や箱が破損して販売できなくなった商品などを、NPO法人フードバンク山口を経由して子ども食堂や社会福祉施設等に寄付。
- その他、店頭でのフードドライブ（家庭に眠っている食品のフードバンクへの寄付を呼びかける活動）の開催や、フードバンクポスト（営業時間内であれば、いつでも食品を投函してフードバンクに寄付ができるポスト）の店頭設置を実施。

## 2 インタビュー「キーパーソンに聞く」

＜株式会社丸久 経営企画室  
広報担当（当時） 浅原 朋子 さん＞

- きっかけはフードバンク山口さんからの協働事業の呼びかけです。
- 販売できず、通常は廃棄される商品であったとしても、提供者としての責任があるので、社内で慎重に検討した上で、ご協力させていただく事を決定しました。
- フードバンク山口さんとの協働事業では、お互いWinWinとなる関係を築くことができます。スーパーマーケットを経営する企業としても食品ロス削減の目標を設定しており、フードバンク山口と協働することで、目標達成に近づくことができます。
- 企業として、「特定のNPOを支援すること」にはハードルがあります。行政との協働とは異なり、お客様に納得していただける理由が必要です。しかし、今回の協働がうまくいったことで、他のNPO等と協働することへのハードルが下がり、さらなる協働にチャレンジしてみようという社内の雰囲気が醸成されました。



### ＜企業としての強み＞

- 本来の事業活動を生かして協働することで、社会的課題解決に向けた相乗効果（食品廃棄の削減＋フードバンク活動の拡大）を生み出すことできる。
- 地域に根ざしたスーパーマーケットを経営しており、多くの人にPRできる。



### 3 協働の具体的な内容

各主体	取組内容
企業 ((株)丸久)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄予定の商品をフードバンク山口に寄付</li> <li>・店頭でのフードドライブの開催</li> <li>・フードバンクポストの店頭設置</li> </ul>
NPO法人フードバンク山口	寄付を受けた食品を回収、管理し、食品を必要とする施設に配布する。

<フードドライブの様子①>



<フードドライブの様子②>



<フードバンクポスト>



### 4 協働の成果

各主体	成果
企業 ((株)丸久)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品廃棄コストの削減、環境負荷の削減</li> <li>・従業員の士気高揚</li> </ul>
NPO法人フードバンク山口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品を必要とする施設への供給量の拡大</li> <li>・フードバンク活動の普及・啓発</li> </ul>

### 5 参考情報

法人名 (所在地)	株式会社丸久
住 所	防府市大字江泊1936番地
設 立	2015年3月9日
事 業 内 容	食料品、住居関連品、衣料品等の小売業
従 業 員 数	4,021名
受 賞 歴 等	チャレンジやまぐち! 地域貢献賞 (平成27年度)

やないしらかべ『絆』ねっとわーく（柳井市） × 食堂「やないろ」

（協働事例）家族・地域・農家を結ぶ 絆プロジェクト

## 1 協働の概要

- 食堂を経営している「やないろ」が、食堂の場所（空間）を提供
- 市民団体「やないしらかべ『絆』ねっとわーく」が、子ども達の心身の健やかな成長を願い、「食」、「学」、「遊」の事業を展開し、運営  
「食」→やないしらかべ子ども食堂 「学」→やない寺小屋 「遊」→体験教室

## 2 インタビュー「キーパーソンに聞く」 ＜やないしらかべ『絆』ねっとわーく 会長 中本 瑞穂 さん＞



- 食堂「やないろ」が、食を通じて子ども達の元気を応援する活動を行いたいが、活動に限界があるので、一緒に活動してくれる方を探されていた。
- 県内各地で「子ども食堂」の活動が始まり、柳井市でも取り組みたいと考えた。
- 協力者を探したところ、すぐに賛同者が集まったことから、市民団体「やないしらかべ『絆』ねっとわーく」を結成し、活動を開始した。
- 食堂「やないろ」に活動場所を提供していただき、市民団体のメンバーがアイデアを出し合い、地域が子育てを支える仕組みづくりに取り組んでいる。
- また、地元事業者や農家のみなさんに応援していただける仕組みづくりや、継続して活動できる体制づくりが地域の中で広がってきている。

### ＜団体としての強み＞

- 子どもの育ちを、「食」、「学」、「遊」など様々な分野でサポートできる人材を有している。

### 3 協働の具体的な内容

各主体	取組内容
市民団体(やないしらかべ『絆』ねっとわーく)	「食」、「学」、「遊」の3つの事業を運営
企業(食堂「やないろ」)	場所(空間)の提供
協力者(農家等)	地元野菜の提供

<やないろ活動スペース>



<やないろ全景>



<子ども食堂、寺小屋チラシ>

### 4 協働の成果

各主体	成果
市民団体(やないしらかべ『絆』ねっとわーく)	子どもの健やかな成長の支援
企業(食堂「やないろ」)	子ども食堂の円滑な運営
協力者(農家等)	地域の活性化

### 5 参考情報

法人名(所在地)	やないしらかべ『絆』ねっとわーく
住所	柳井市柳井津457(白壁の町並み)
設立	令和3年4月
事業目的	子どもの健やかな成長につながる地域交流の場の提供
会員数	28名
受賞歴等	—

(協働事例) ヘアドネーションプロジェクト

ポポメリー (山口市) × 山口県女性起業家グループ・輝ら女

1 協働の概要

- 「ポポメリー」はがんに向き合う団体として、“がんになっても自分らしく前向きに生きられる社会を目指す”ことをビジョンに活動を展開
- ヘアドネーションの啓発活動に賛同した女性起業家グループ「輝ら女」が協力し、ヘアドネーションの啓発動画を企画
- 「輝ら女」のメンバーはそれぞれの専門性を活かし、ヘアドネーション動画の制作に参画

2 インタビュー「キーパーソンに聞く」  
 <ポポメリー 代表 藤本 育栄 さん>

- 誰もができるがん患者さんへの身近な支援の方法としてヘアドネーションという髪の毛の寄付がある。
- ウィッグを必要としている方がおり、ヘアドネーションという寄付のカタチを多くの人に知って欲しいと願う団体の思いに賛同した女性起業家グループ「輝ら女」の協力を得て、ヘアドネーションの啓発動画を制作した。
- 動画を発信により、ヘアドネーションの言葉の意味を知り、がんという病気や治療について関心を持つきっかけとなり、検診に行く、患者を支援するという行動に繋がっている。
- 「がんピアサポーター」を育成し、がんに関する団体と地域で支え合える仕組みづくりに取り組んでいる。



<団体としての強み>

- 一緒に取り組んでくれる「人的ネットワーク」を有している。



### 3 協働の具体的な内容

各主体	取組内容
市民団体(ポポメリー)	ヘアドネーションの普及啓発
企業(輝ら女)	動画作成に係る専門的技術を提供 ・プランナー、デザイナー、写真、ヘアメイク
協力者(美容室経営者)	美容室(空間)と技術を提供

<寄附をする髪の毛をカット>



<マスコミからの取材>



<プロジェクトメンバー>



<動画作成の様子>



### 4 協働の成果

各主体	成果
市民団体(ポポメリー)	ヘアドネーションの普及啓発、支援の輪の拡大
企業(輝ら女)	社会貢献活動を実現、協働意識の向上
協力者(美容室経営者)	社会貢献活動を実現、協働意識の向上

### 5 参考情報

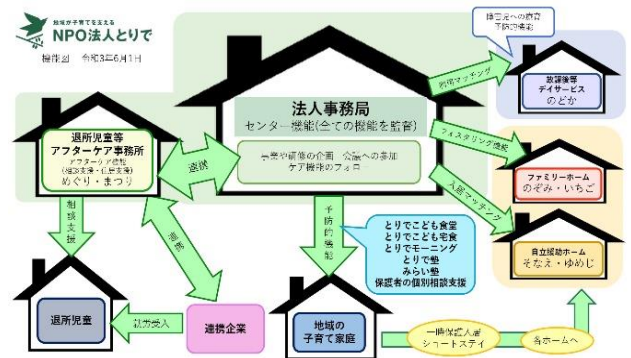
法人名(所在地)	ポポメリー
住所	山口市
設立	令和2年12月設立、令和3年4月活動開始
事業目的	がんの罹患者及び関心のある人に対し、相談・支援・情報共有・交流に関するサポートにより、がん啓発とQOLの向上に繋げる
会員数	23名
賞歴等	—

(協働事例) 岩国の特徴を活かした福祉・子育て支援の活動

認定NPO法人とりで (岩国市) × 岩国市内の9企業・事業所

1 協働の概要

- 認定NPO法人とりででは、岩国市内の9企業・事業所と連携協定を結び、子ども食堂や若者の自立を手助けする施設を運営
- 施設から巣立つ若者の就労、生活支援など地域が子育てを支える仕組みづくりを構築
- 現在、こうした活動に理解を示し、共感して頂ける9企業・事業所と連携協定を結び、寄付や企業の専門性を活かした学習・事業等の支援を頂きながら活動を継続



2 インタビュー「キーパーソンに聞く」

<認定NPO法人とりで 代表理事 金本秀韓 さん>

- とりでの理念「地域が子育てを支える」を掲げ、「子ども食堂」や「学習支援」などの居場所づくりを中心に地域に根差した活動を続けている。
- 他人の作った居場所に子どもを預けることに不安を感じる家庭も多いですが、少しずつ他人を頼ることで「子育て」から少しはなれ、「息抜き」する時間が生まれる。
- 「子育て」だって休んでいいと思えるような文化を地域に根付かせることが私たちの使命で、どの家庭にもこういった居場所が必要なのだと確信している。
- 私たちは「地域が子育てを支える」の延長線上にある「子ども虐待防止」のために、「予防」と「保護」の両輪の活動に取り組んでいる。
- 活動が評価され、行政や学校との連携、共感して頂く企業・事業所も増えて、様々な分野で協働して活動を行っている。



<団体としての強み>

- 多様な事業を地域住民や企業・関係機関と連携しながら展開することで、多角的なアプローチと切れ目のない支援が可能。



各主体	取組内容
認定NPO法人（とりで）	子どもの貧困対策に関する事業等 ・子ども食堂、学習支援、就労支援、居場所づくり
企業（ドミノピザ南岩国店）	子ども食堂にピザを提供
企業（アイエムシンクタンク株）	・子どもを対象にパソコン教室 ・児童養護施設等を退所した児童を随時採用・とりでの年間活動費の一部補助
企業（大成テクノ株式会社） 企業（株式会社三協） 企業（上新工業株式会社） 企業（株式会社クロカワ） 企業（株式会社ピアレス） 企業（上山興業株式会社） 企業（渡邊工業有限会社） 企業（株式会社 SEITEN）	・退所児童等のアフターケア ・児童養護施設等を退所した児童を随時採用・とりでの年間活動費の一部補助

<生活風景>



<学習支援>



#### 4 協働の成果

各主体	成果
認定NPO法人（とりで）	地域が子育てを支える仕組みづくり
企業（9企業・事業所）	地域貢献、地域の活性化

#### 5 参考情報

法人名（所在地）	認定NPO法人とりで
住 所	岩国市
設 立	平成28年3月
事業目的	子どもの貧困対策・子どもの居場所づくり・保護者への子育て支援の活動を通じた子ども虐待の予防と保護
会 員 数	正会員 29名 賛助会員 13名
受賞歴等	・第55回社会貢献者表彰 受賞（公益財団法人社会貢献支援財団） ・令和3年度チャレンジやまぐち！地域貢献賞（山口県）ほか多数

(協働事例) VRや映像コンテンツなどを使った魅力発信の協力・支援

ABU ウォーターボーイズ (阿武町) × 大村印刷(株) 防府商工高等学校 × 大村印刷(株)

## 1 協働の概要

- 学校、団体、企業が連携し、VRや映像コンテンツを制作
- 企業の専門性や技術等を高校生や団体に指導・支援することにより、人材育成に尽力
- 地域イベントなどに参画や協力をすることにより、地域の活性化を推進

## 2 インタビュー「キーパーソンに聞く」

<大村印刷株式会社 企画部 部長代理  
クリエイティブディレクター 佐鹿 健治 さん>



- 情報を発信する企業として、映像の分野にも進出している。
- 映像コンテンツやVR映像・ライブ配信などを使用した地域の魅力発信について、地域貢献として学校や地域活動に協力している。
- 地域の人、自らが考えること、チャレンジすることを応援したいと考える。
- 地元の人が考え作ったものは「温かい思い」というエッセンスが加わり、魅力が伝わる。
- 地域活動を通して、学校や団体との関係性が深まり、様々な情報が入り、地域へのイベントへの協力が生まれいくことから、地域の中での会社の役割を再認識している。

### <企業としての強み>

- 印刷会社として情報整理し発信する力を活かし、デジタルの分野でも幅広く事業展開。映像分野やデジタルサイネージ分野に今後も力を入れ地域情報発信するキーパーソンとしてビジネスも含め地域貢献にも積極的に活動している。

### 3 協働の具体的な内容

各主体	取組内容
市民団体(ABU ウォーターボーイズ)	コロナ禍における地域おこし ・ウォーターボーイズVR動画の作成
企業(大村印刷株式会社)	企画、撮影、編集など技術指導
学校(防府商工高等学校)	実践授業 ・着物体験の動画作成、観光MAPの作成など

<高校生への指導>



<高校生への指導>



<ABU ウォーターボーイズ撮影風景>



### 4 協働の成果

各主体	成果
市民団体(ABU ウォーターボーイズ)	地域の活性化、魅力発信
企業(大村印刷株式会社)	地域貢献、地域の活性化に寄与
学校(防府商工高等学校)	技術習得

### 5 参考情報

法人名(所在地)	大村印刷株式会社
住所	防府市西仁井令一丁目21番55号
設立	昭和21年11月
事業内容	各種印刷物の製作、情報誌の発行やWeb関連の各種メディア事業、映像コンテンツ・デジタルサイネージ・電子書籍など幅広い事業展開
従業員数	300名
受賞歴等	企業ボランティア活動促進事業所指定

(協働事例) 一生に一度の晴れの日を彩りたい  
 ～成人式がなかった、ないかもしれない方のために「家族 de 成人式」～

着物体験しをり (防府市) × 桑華苑 (防府市) × (株) K A I K A (下関市)

## 1 協働の概要

- 新型コロナウイルスが全国各地に感染拡大し、成人式など地域での行事が次々と中止となった。
- 飲食や美容・着物に関わる関係者が、「一生に一度の晴れの日を、大切な家族と特別な場所で過ごす」をコンセプトに、「家族 de 成人式」を企画した。
- 着物を着て、写真を撮り、会食をして家族と一緒に祝うことを目的として、この事業を企画し、クラウドファンディングで情報発信した。

## 2 インタビュー「キーパーソンに聞く」

<着物体験しをり 代表 葛原佐千子 さん>

- 長年成人式の着付けやヘアセットなどに携わる中で、成人式式典の後、ご家族の方と過ごす時間もないまま終わってしまう当日の在り方について疑問を感じていた。
- そうした中、新型コロナウイルスの感染拡大により、晴れ着を着る機会がなくなった新成人の皆さんと話している中で、新たな形での成人の日も必要なのではないかと感じ始めた。
- 家族と過ごす時間が少ない成人の日よりも、「一生に一度の晴れの日を、大切な家族と特別な場所で過ごす」をコンセプトに、「家族 de 成人式」を考えた。
- 防府市内の高級料亭「桑華苑」がこの企画に賛同し、晴れの舞台として、個室での会食や日本庭園での記念写真など心のこもったおもてなしを提供することとなった。
- この企画を広く周知し、賛同者を募るため、(株)KAIKAに相談しクラウドファンディングを実施したところ、新しい連携・協働の形態として、マスコミをはじめ多くの人の関心を集め情報発信することができた。



### <団体としての強み>

- 着物文化の普及や体験活動というキーワードで、業種・業界を超えて様々な企業や組織



### 3 協働の具体的な内容

各主体	取組内容
市民団体(着物体験しをり)	着物の着付けを提供
企業(桑華苑)	上質なおもてなしと風情ある空間を提供
企業(株式会社K A I K A)	クラウドファンディングにより情報発信

<家族での記念写真撮影>



<マスコミの取材>



<家族での会食風景>



<多くの着物の中から選択可能>



### 4 協働の成果

各主体	成果
市民団体(着物体験しをり)	他業種との連携により新たな着物関係の発信
企業(料亭「桑華苑」)	高級店のイメージからの脱却
協力者(株式会社K A I K A)	地域の活性化、地域社会の成長に貢献

### 5 参考情報

法人名(所在地)	着物体験しをり
住所	防府市車塚町7-21
設立	令和2年1月
事業目的	着物文化の普及や観光振興を図る
会員数	10名
受賞歴等	—